



2020年に開催したわらべ館ワークショップの様子

おととからだであそぼう

特別編 新井英夫さんと学ぶオンライン野口体操&体奏講座

野口体操は東京芸大名誉教授野口三千三氏が考案し、身体を緩めほぐしながら自由な動きを創造する活動です。最後の弟子の世代である新井氏は「体奏家」と名乗り、野口体操に音楽演奏を絡めながら独自のワークショップを展開してきました。劇場のアウトリーチ（可児市 ala など）、福祉施設、特別支援学校など幅広く活躍しており、ファシリテーターの養成にも長年携わっています。2022年 ALS（筋萎縮性側索硬化症）を発症し、現在電動車椅子ではあるものの、多忙な日々を送る新井氏は「動けなくなって、野口体操からますます学ぶことが多い」と語っています。踊る前の普通の身体をゆるめることから。東京と鳥取を繋いだオンライン講座を開催します。オンラインということで県外の方もご参加いただけます。

実践編①

野口体操って？ベーシックな野口体操入門

2月3日(金)18:30～20:00

実践編②

野口体操から体奏へ

～オンラインでもできること～

ほぐれたからだココロから表現をつくってあそぶ。

2月10日(金)18:30～20:00



講師 新井英夫 板坂記代子（オンラインにて中継）

会場 鳥取大学地域学部棟アートプラザ

料金 無料

定員 会場受講 20名

ZOOMによるオンライン受講 5組

ZOOMに映し出される画面サイズが小さくなることからオンライン受講の定員数を少なくしています。できるだけ会場で実際に身体を動かしながら受講してください。

ミニシンポジウム

オドることは生きること。誰もが表現できる社会へ。

～公共劇場から福祉・教育・社会包摂へ。
地域課題をアートでほぐす可能性。

新井さんがファシリテーターとして関わってきた劇場、福祉施設などの活動から学びます。

2月23日(木祝)14:00～16:00

コメンテーター 新井英夫（体奏家）

（オンライン登壇）板坂記代子（体奏家）

栗田康弘（可児市文化創造センター ala）

司会進行 木野彩子

会場 わらべ館いべんとほーる

料金 無料

定員 会場受講 30名

ZOOMによるオンライン受講 100名

参加条件

実践編に参加希望の方は、原則全プログラムにご出席をお願いします。ミニシンポジウムのみの参加は可能です。

お申し込み方法

구글フォームに必要事項を記入してください。 <https://forms.gle/8L8cufVnoLCbwyGy9> 参加者多数の場合は受講できない場合もありますので、折り返しご連絡させていただきます。



◀グーグルフォーム

お問い合わせ

鳥取大学地域学部 舞踊・身体表現研究室（木野） saiko@tottori-u.ac.jp 電話 0857-31-5130

協力

公益財団法人可児市文化芸術振興財団 NPO 法人カブカブ 公益財団法人鳥取童謡・おもちゃ館 / わらべ館

プロフィール



新井英夫 (あらい ひでお)

体奏家・ダンスアーティスト。1966年埼玉県生まれ東京在住。自然にならい力を抜く身体メソッド「野口体操」を創始者より学び深い影響を受ける。投げ銭方式の十五夜野外劇など、劇場からマチに出るユニークな劇団活動主宰を経て、のち独学でダンスへ。国内外での公演多数。舞台活動との両輪として、乳幼児から高齢者まで障害の有無に関わらず幅広い対象に向けた「ほぐす・つながる・つくる」表現とコミュニケーションのワークショップを教育・福祉・社会包摂等に関わる現場で実施している。国立音楽大学他非常勤講師、青山学院大学社会情報学部プロジェクト教員。2022年夏に神経性難病 ALS(筋萎縮性側索硬化症)の確定的診断を受ける。現在、病と向き合いつつ「不自由の中の自由」を模索しながら”当事者”と”支援者”の両域の視座から新たな活動や発信を継続中。



板坂記代子 (いたさか きよこ)

身体表現者・美術家。山形県出身東京在住。「くらしを自らつくる」をテーマに美術制作・手しごと研究を行いつつ、その延長として身体表現に関わる。2010年より新井英夫と共に舞台公演活動とワークショップを実施中。「てきとう手しごと工房」主宰。2022年より可見市文化創造センター ala(岐阜県可見市)での社会包摂プログラム「手と手であそぶ」のファシリテーターを担当、小学生・中高生・おとなたちが集い「手で何かをつくる」ことを通して緩やかにつながる「居場所」づくりを展開中。



栗田康弘 (くりた やすひろ)

公益財団法人可見市文化芸術振興財団 顧客コミュニケーション室 室長

1971年愛知県豊田市生まれ

大学を卒業後、株式会社東海テレビプロダクションを経て、兵庫県立芸術文化センターの開館準備財団、世田谷パブリックシアター、まつもと市民芸術館、長野市松代文化ホール、長野市芸術館など、さまざまな都市規模(人口2~550万人)、専門性・創造性、運営手法(芸術監督制など)を持つ全国各地の公共劇場にて開館準備やオープニングシリーズ、大規模プロジェクト(音楽祭等)の立ち上げ、地元民間企業による指定管理者への新規参入プロジェクトなどに携わってきた。2018年より《社会包摂型劇場経営》を推進する岐阜県の可見市文化創造センター alaへ、事業制作課を経て、現職(マーケティング・ブランディング部門統括)。

MAP



実践編

鳥取大学地域学部棟アートプラザ

鳥取市湖山町南4丁目101



ミニシンポジウム

わらべ館いべんとほーる

鳥取市西町3丁目202